



# MACHI NIWA3

世田谷区北烏山プロジェクト

建売住宅5棟

2011年2月竣工



## 5棟の住宅を同時に設計することによって実現したこと



- ① 周辺環境と適度につながる程良い関係
- ② 季節感と広がりのある豊かな生活空間
- ③ まとまりのある“広場”と“良好な街並み”

計画地について



敷地 世田谷区北烏山

# 「まちにわ」という空間について



「まちにわ」とは

駐車スペース

+

道路

+

オープンな空間

「まとまり」と「つながり」

団地間の成熟した緑

「まちにわ」

周辺住民が  
行き交う緑道

団地間の成熟した緑

全体建物配置によって「広場のようなまとまり」と  
「周辺の緑とのつながり」を生み出しています。

# 快適な敷地境界線

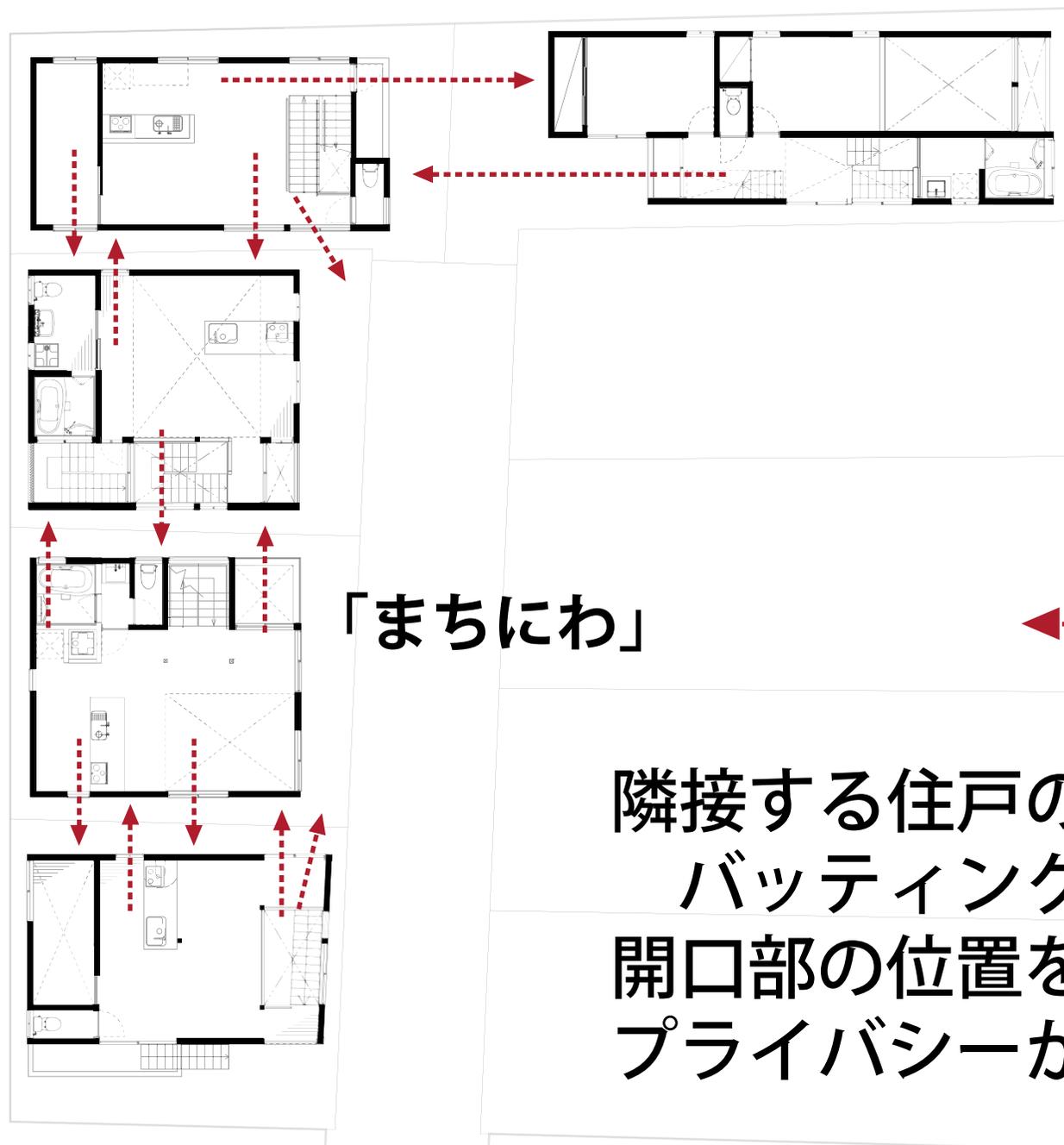


敷地境界線上にフェンスがないことによって  
小さな空間が生まれます。  
この空間はまちにわと連続しています。

# 快適な敷地境界線



## 隣接する建物同士の関係



「まちにわ」

…人の視線

隣接する住戸の室内同士の視界が  
バッティングしないように、  
開口部の位置を調整することで、  
プライバシーが守られています。

# 隣接する建物同士の関係



視線が交わらないように配置している開口部

# 「屋上庭園」と「屋根ヴォリューム」の関係

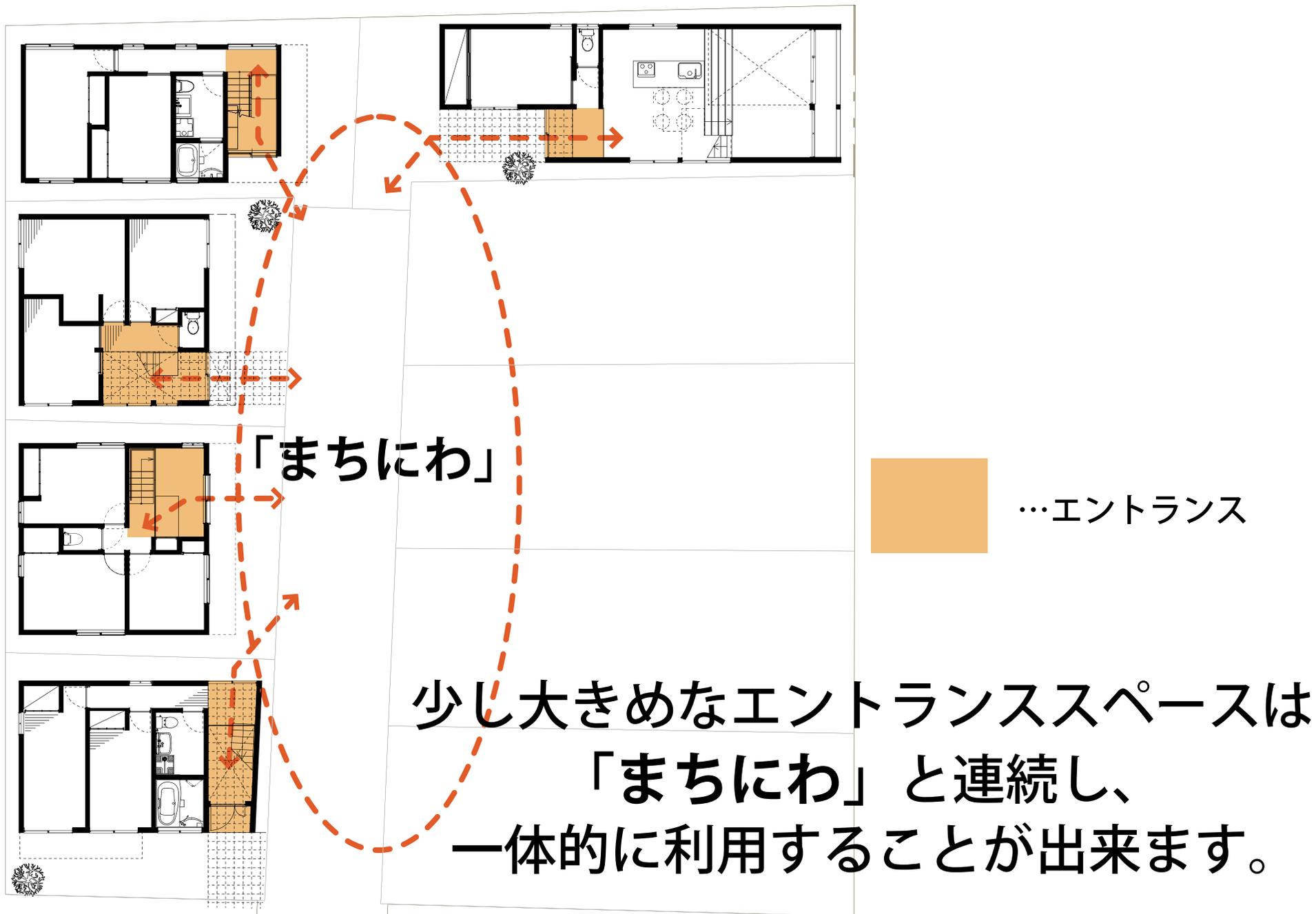


「屋上庭園」と「屋根ヴォリューム」を少しづつずらす  
ことで、程よい距離感をつくり出しています。

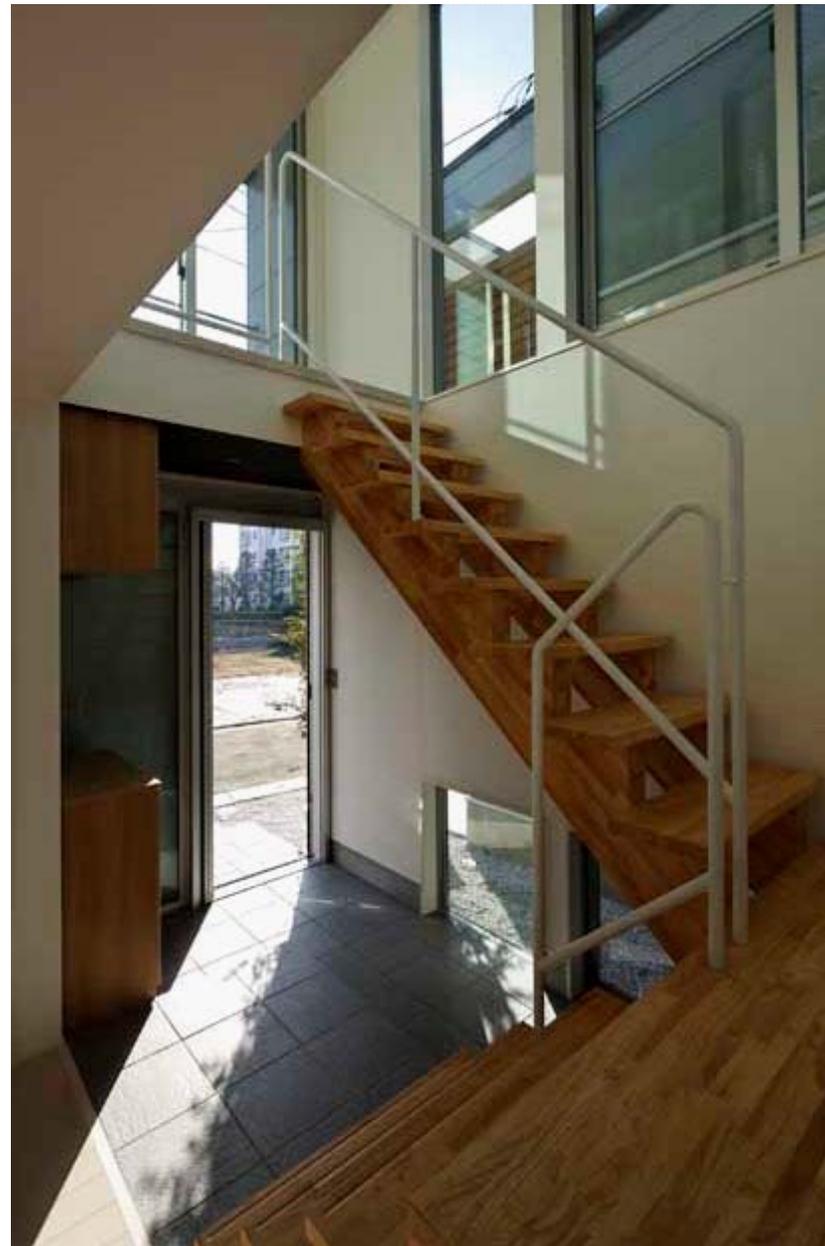
# 「屋上庭園」と「屋根ヴォリューム」の関係



# 「まちにわ」と連続した1階エントランススペース



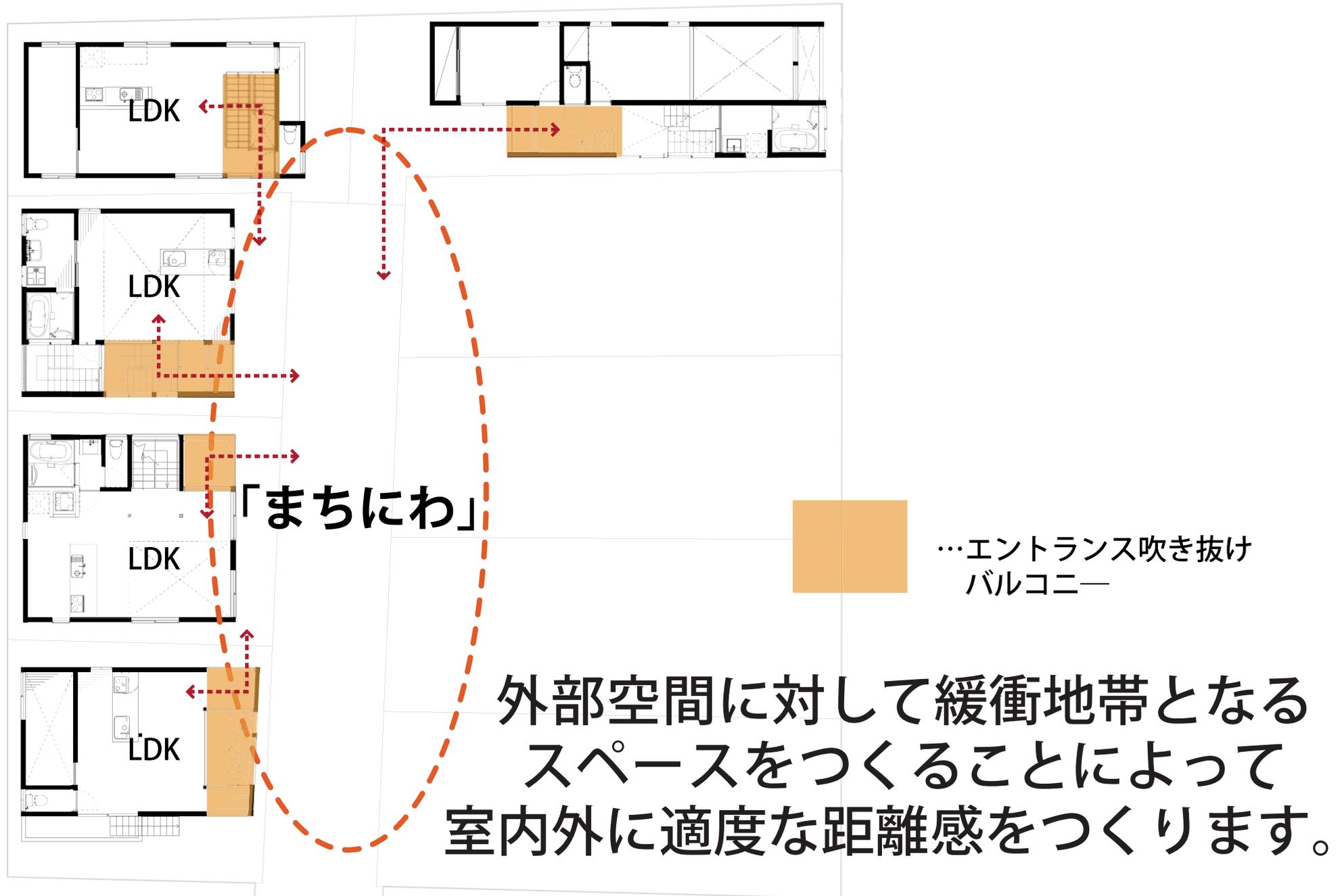
# 「まちにわ」と連続した1階エントランススペース



# 「まちにわ」に向かって開かれた2階の大きな窓



「エントランス吹き抜け」や「バルコニー」は「まちにわ」との緩衝帯

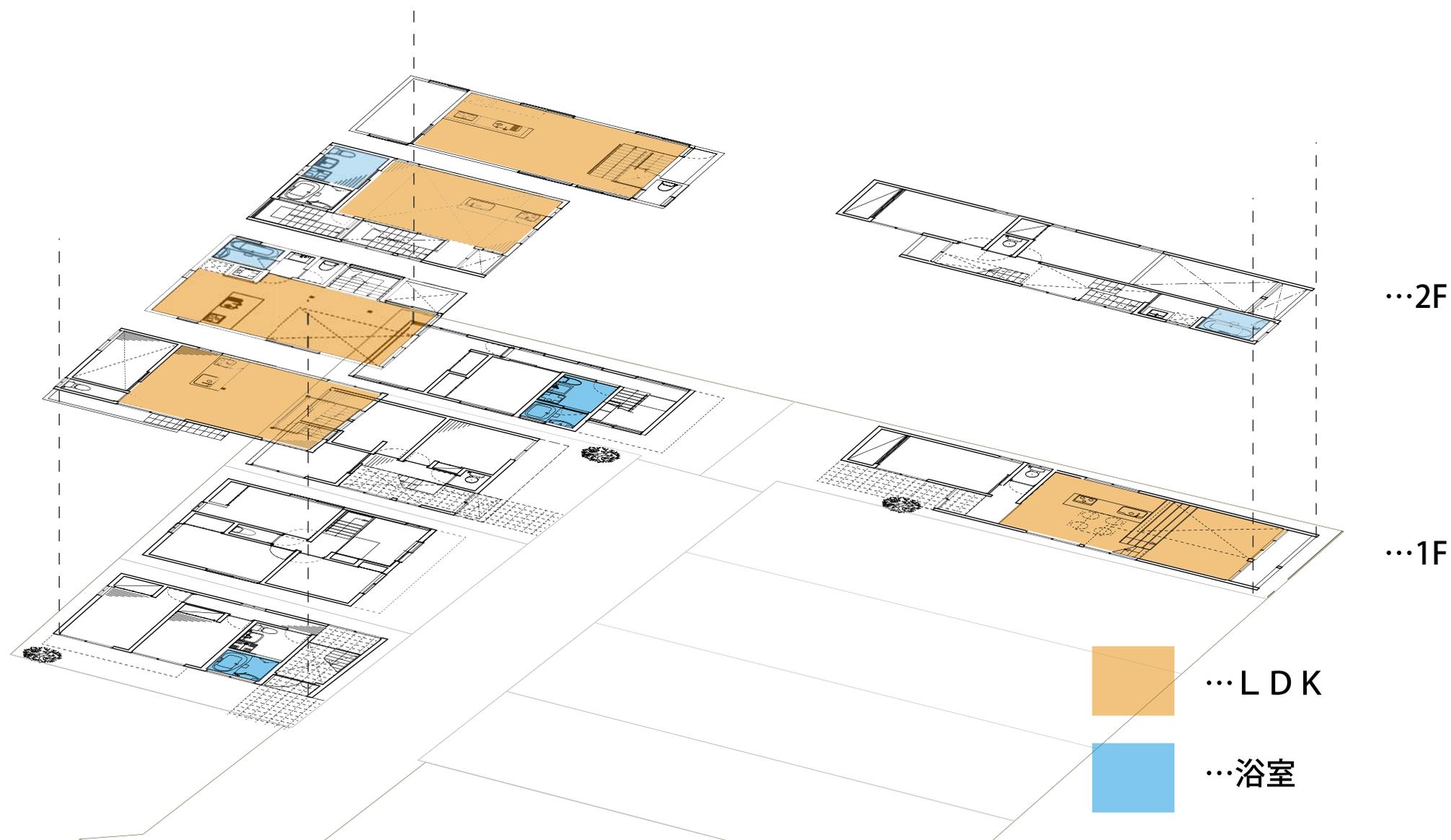


# 緩衝地帯によって「まちにわ」と適度に距離をおく



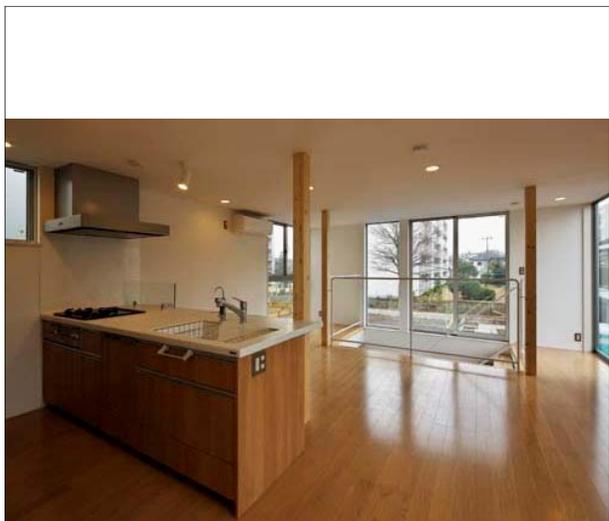
「2FLDK(左)」と「エントランス吹き抜け(右)」

# それぞれの敷地を生かした多様な住戸

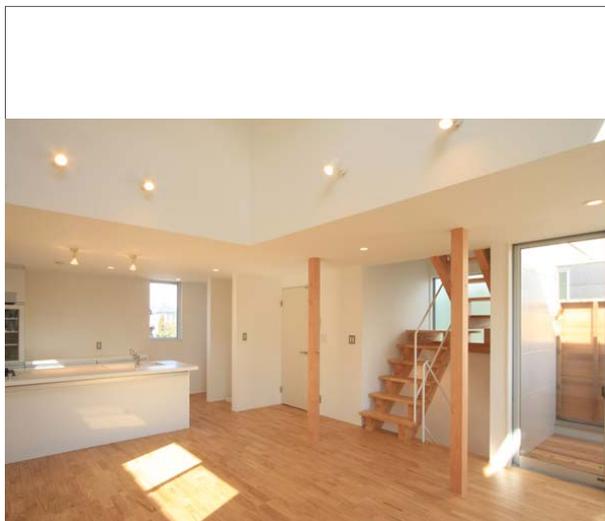


少しずつ異なる敷地条件を読み込み、各住戸を設計することによってそれぞれ異なる空間構成となります。

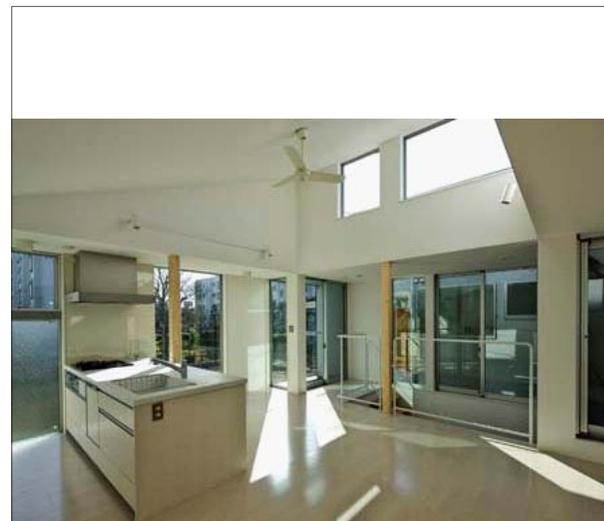
# それぞれの敷地を生かした多様な住戸



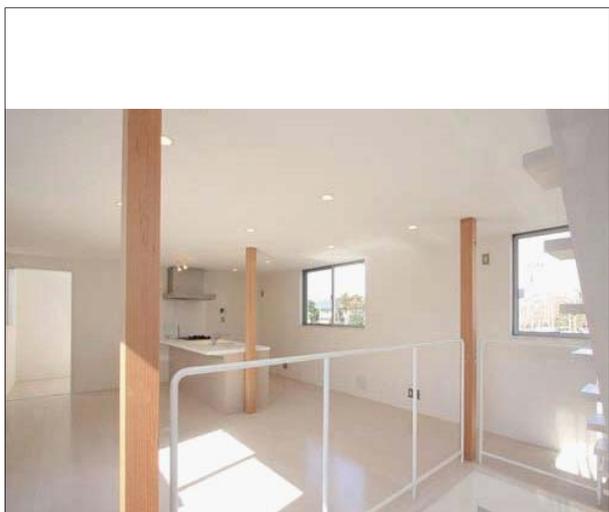
1号棟



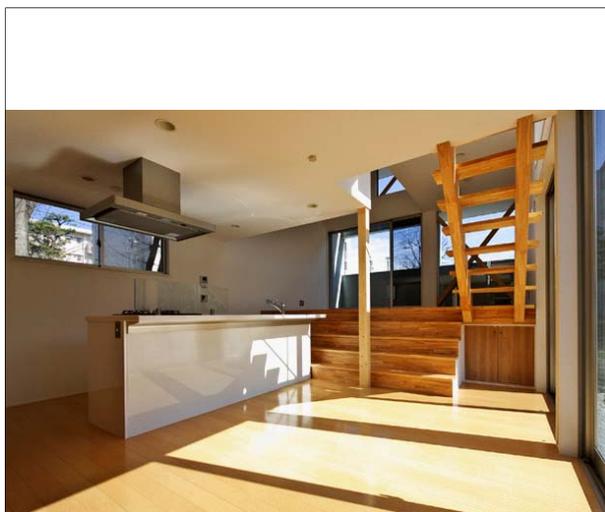
2号棟



3号棟



4号棟



5号棟

多様な空間構成



異なる空間構成が  
外観としても現れる  
ようにしたことによって、  
多様性を持ちながら  
5棟全体として  
まとまりのある街並みと  
なるように設計しています。